

土砂災害に備えを

梅雨や台風の時節を迎える毎年6月は「土砂災害防止月間」です。近年多発している土砂災害に備え、いざというときに適切な行動が取れるよう、自宅付近の危険箇所や災害時の情報収集方法の確認をしましょう。

気象情報の確認と崖の様子に注意を

近年は気候変動などにより、大型台風や集中豪雨が増加し、土砂災害の増加・激甚化が懸念されています。いざというとき適切な行動が取れるよう、日頃から備えましょう。

◆気象情報を確認し、避難を

「レベル3土砂災害警報」や「レベル4土砂災害危険警

報」が発表されたら、親戚・知人宅や開設された避難所など安全な場所へ避難しましょう。避難場所に行くことが困難な場合は、自宅内の崖から一番遠い場所や2階に避難しましょう。

◆崖の様子に注意を払う

崖から小石がパラパラ落ちてくる、崖に亀裂が入るなどの前兆現象が起った場合、崖崩れが発生する恐れがあり

ます。このような異変を感じたら、早めの避難を心掛けてください。

◆ハザードマップをチェック

市で作成した「津波・土砂災害ハザードマップ」と「洪水ハザードマップ」は、市内の水害や土砂災害が想定される区域の他、避難所などの情報を掲載し、日頃の防災対策に役立ててもらうものです。いざというときに、適切な行動がとれるよう、自宅付近の危険箇所や避難場所を確認しておきましょう。ハザードマップは市役所や野栄総合支所、八日市場公民館などで配布しています。

土砂災害の前兆現象



※前兆現象を確認するためであっても、危険な場所に近づくのは絶対にやめましょう。

- ・崖からの水が濁る
- ・崖に亀裂が入る
- ・小石がパラパラと落ちてくる
- ・崖から音がする
- ・湧き水が止まる
- ・樹木が傾いたり、裂ける音がする

防災行政無線は聞こえていますか

市では、各世帯に対して防災行政無線戸別受信機を貸し

出しています。貸し出し手続きは総務課(市役所2階)で行います。貸し出しは1世帯に1台(市の住民基本台帳に登録されている世帯)です。なお、2世帯で同一建物に居住している場合は1台までです。

◆電池の確認を忘れずに

戸別受信機には、停電時にも使用できるように電池を入れることができます。戸別受信機を定期的に確認し、古くなった乾電池(1年以上経過したもの)は、早めに交換しましょう。

電池交換のサインが出たら一度電源を切り、新しい乾電池と交換し、電源スイッチを入れなおしてください。

《電池交換のサイン》

●電源ランプが赤と緑に交互点滅している。

●放送終了後にアラーム音が鳴る。

◆もう一度聞きたいときは

戸別受信機は直近の放送を自動的に録音しています。再生ボタンを押すことで放送を聞くことができます。

◆よく聞かないときは

放送が時々途切れるなど、うまく受信できない場合は戸別受信機の設置場所を少し変

えるなどの方法を試してください。受信状況が改善されない場合は、左記までご相談ください。

防災メールの登録を

気象情報や防災情報などを携帯電話やパソコンにメールで配信する「匝瑳市防災メール」を運用しています。防災情報などの取得手段としてご利用ください。

◆配信内容

気象情報、避難情報などの防災情報、地震情報(震度3以上)、津波に関する情報、国民保護情報など

◆登録方法

「t-soga@sg.jp」に空メールを送るとメールが届きますので、案内に従って、登録手続きをしてください。

▼スマートフォンの場合はこちら



防災訓練は11月15日
今年度の匝瑳市総合防災訓練は、11月15日(日)8時から実施予定です。

総務課消防防災班

☎73・0084

予算の執行状況をお知らせします

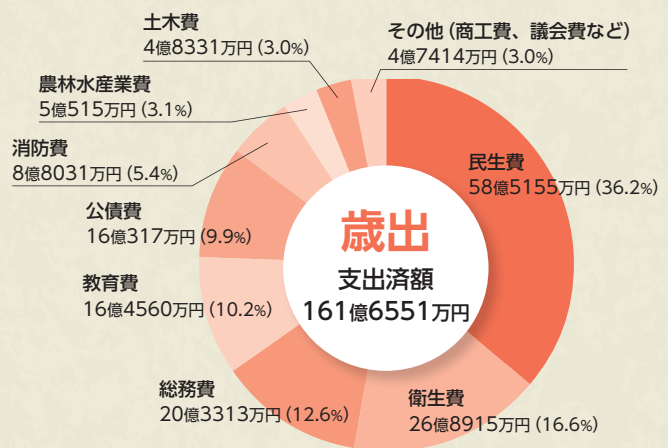
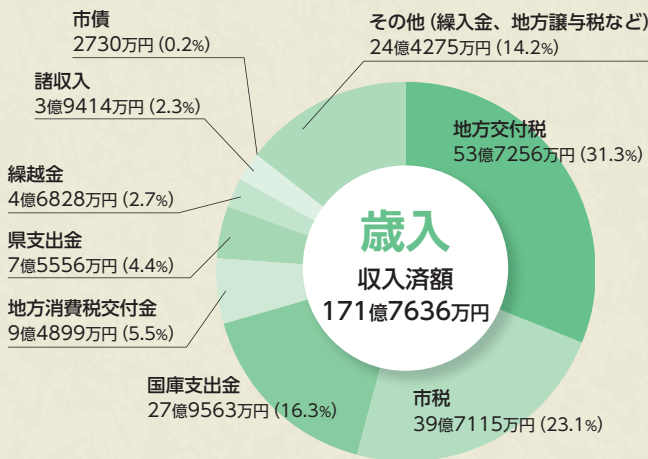


市では、年2回、条例に基づき財政状況を公表しています。今回は、令和7年度予算の3月末時点の執行状況をお知らせします。市の会計は、病院事業会計を除き5月31日まで出納整理期間があるため、今回お知らせする数値は決算額とは異なります。 圖財政課財政班 ☎73-0085

一般会計

一般会計とは、福祉や教育、建設など基本的な行政サービス運営の経費を賄う会計です。

予算額	歳入・歳出	182億1476万円
歳入	収入済額	171億7636万円
歳出	支出済額	161億6551万円



特別会計

特別会計とは、特定の収入がある事業を行う場合に、一般会計とは分けて管理を行う会計です。

会計	予算額	執行済額
国民健康保険特別会計	45億7477万円	歳入 39億7704万円 歳出 38億8200万円
後期高齢者医療特別会計	5億8646万円	歳入 6億1993万円 歳出 5億8102万円
介護保険特別会計	42億5460万円	歳入 41億1265万円 歳出 35億9407万円

病院事業会計

病院事業会計とは、匠瑳市民病院の会計で、同病院の企業としての独立した会計です。

区分	予算額	執行済額
収益的収支	収入 31億5266万円 支出 30億8346万円	収入 31億6178万円 支出 30億8346万円
資本的収支	収入 4億6135万円 支出 6億1018万円	収入 2億7983万円 支出 3億9005万円

資産の状況

市が保有する基金、財産および債務です。

基金 特定の目的のための市の貯金です。現在の基金残高は約48億円です。

▼市が有する基金(全12基金)

財政調整基金	12億7667万円
国民健康保険財政調整基金	3億7647万円
社会福祉振興基金	4億2147万円
ふるさと振興基金	4億9156万円
減債基金	2億1153万円
育英資金貸付基金	1億8967万円
スポーツ推進基金	2714万円
介護給付費準備基金	4億1164万円
地域振興基金	11億1676万円
森林環境整備基金	2944万円
まち・ひと・しごと創生推進基金	404万円
土地開発基金	土地 2448.61㎡ (7717万円) 現金 1億4228万円

市有財産 市所有の土地や建物などです。約125万㎡の土地と約13万㎡の建物を有しています。

▼財産の内容

行政財産	土地	建物
市庁舎など	31,540.9㎡	8,228.6㎡
公共財産(学校・住宅・公園・その他施設)など	786,037.4㎡	113,039.2㎡
普通財産	土地 432,699.4㎡	建物 5,924.0㎡

市債残高 借入金などの債務(市の借金)の残高です。現在の市債残高は約102億円です。

▼市債の内訳

普通債	総務	民生	衛生	農林水産業	土木	公営住宅	消防	教育	災害復旧債	市民税等減税補填債	臨時財政対策債	減収補填債														
総務	2億7008万円	民生	1490万円	衛生	8億8409万円	農林水産業	8億2328万円	土木	11億9262万円	公営住宅	970万円	消防	3993万円	教育	22億2615万円	災害復旧債	土木	470万円	教育	256万円	市民税等減税補填債	235万円	臨時財政対策債	47億2003万円	減収補填債	4347万円